



多賀城



将棋



# 将棋で次世代へつなぐ 文化継承への思い

↑今回、優勝した笹原さん(右)と多賀城の最高賞の蜂谷さん(左)は、友好都市である天童の人間将棋に駒武者役で出場しました。

多賀城市と山形県天童市は2006年から友好都市です。戦国時代から長きにわたるつながりがありますが、市民活動でも天童市との将棋の交流があることを知っていますか？

多賀城将棋ラボは、日本の伝統文化である将棋を通して、市民交流や地域の活性化、友好都市天童との交流を目指し、2014年から活動してきました。

2023年3月19日(日)、21日(火・祝)には、「多賀城創建1300年記念 多賀城市長杯 交流将棋大会」を初開催しました。2日間で104人が参加し、会場は熱気に包まれました。今回好成績を残し、天童桜まつりの人間将棋の駒武者役として出場する権利を獲得したのが、現役大学生の笹原駿佑さんと蜂谷尚輝さんです。



↑笹原さんたちは3月19日(日)実施のこども大会でボランティアもしていました。



↑一般大会の様子。小学生から高齢者までたくさんの参加者が集まりました。

城南小学校在籍中、多賀城将棋ラボに参加していた2人は、2015年には同じ小学校の3人1グループで戦う「文部科学大臣杯 第11回小学校将棋団体戦(日本将棋連盟、産経新聞社主催)」に鈴木大晟さんと共に出場。県大会で見事優勝し、全国大会へ出場しました。

3人に将棋を教えたのが多賀城将棋ラボを主宰するアマチュア棋士の出原卓朗さんでした。出原さんは「将棋は本当に年齢・性別関係なく気軽に楽しめるので、もっと定期的に楽しめる場所を若い人が中心となればと考えています」と話していました。

多賀城創建1300年を記念して行われた今大会は、市民活動で育て積み上げてきた伝統文化や人材が花開く記念すべき大会となりました。

## 多賀城将棋クラブ (小学生以下対象)

ほかのまちや学校の将棋仲間と対戦して、友達やライバルを増やして楽しみましょう！

対象：多賀城市、塩竈市、利府町、七ヶ浜町の小学生以下の方

日時：6月17日(土)9:30~11:30 (※月1回開催予定)

会費：500円

会場：多賀城市市民活動サポートセンター 101会議室

内容：ポイント制 最多ポイント~3位まで記念品



問い合わせ・申込み 電話：090-5067-5191(出原さん) E-mail：tagashogi@gmail.com

## 多賀城将棋ラボ

年齢・性別問わず楽しめる「将棋」を通しての市民交流と地域活性化を図り、交流人口から関係人口の拡大を目指し、年に5~6回の将棋大会を開催しています。



ブログ



代表  
出原卓朗さん





# 苦手なもの、今日は食べられたよ!

6月は食育月間。「食」の楽しさを伝えるために活動している団体の姿を通して、身近なことから始められる食育の形を探りたいと思います。

## きっかけは「孤食」への危機感

東日本大震災後に人とのつながりの大切さを実感し、さらに子どもや高齢者の孤食が増えていることから、地域での結びつきを作ろうと活動を始めた団体が「みんなで食べよう会」です。「大人も子どもも一緒にご飯を食べてゆっくり過ごせる場を作りたい」という想いのもと、団体名のとおり多世代の人たちが集まって食事をする事で、食べることの楽しさを伝えています。2017年に第1回目を開催し、コロナ禍前は年に3回、20人程の親子を集め、みんなで円になって食事を楽しんでいました。料理を作っているあいだに、紙芝居や絵本の読み聞かせ、踊りや太鼓の発表を行ったり、参加者同士のつながりを作ろうと自己紹介の時間を設けることで、たくさんの交流を生み、子どもはもちろん、大人たちにとってもかけがえのない場となりました。

## みんなで食べる喜びのために

提供する献立は、主食・主菜・副菜の栄養バランスを考え、旬のもの、子どもが喜びそうなもの、安心・安全に食べることができる食材など、毎回趣向を凝らして決めています。調理を担当しているのはチラシや口コミなどで集まったボランティア。4月27日(木)の開催時には15人が集まりました。工程を細かく確認したり、メニューごとに役割を分担することで、負担が軽減され、楽しく作業することができています。運営に必要な経費は、参加費の他にフードバンクから寄付された食材を利用するなど、活動を継続するための工夫も行っているとのこと。「おいしかった」「楽しかった」といった参加者のみなさんの感想もモチベーションの維持につながっています。

代表の笠松さんに改めて食育に大切なことを聞くと「みんなで楽しく食べること」という答えが返ってきました。みんなで食べることで苦手なものも食べられたという子どももいたそうです。「コロナ禍でお弁当の配付の活動が続いていますが、次回の開催ではまた集まって食事ができるといいな、と思っています」と笑顔で語ってくれました。食育は難しいことではありません。みなさんも身近なことから始めてみませんか?



コロナ禍でのお弁当の配付の様子。4月27日は7組の親子が申し込みました。



衛生面にも配慮して調理しています。



この日、好評だった鶏肉のごま揚げは、前日から仕込むほど手が込んでいます。

## 用語解説

### 食育とは?

「食」に関する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

### 食育月間とは?

家庭や地域など社会全体で食育推進に取り組むために設けられた「食育」の強化月間。

## みんなで食べよう会



電話：090-7332-4409(和田さん)

E-mail：nursing.yoyaku@gmail.com

今回は8月に山王地区公民館で通常開催を予定

※事前予約制



ブログ

## 「tag」とは

「tag」には、多賀城(tagajo)」の頭文字3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



ホームページ ブログ

## アンケート

誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします!

- ・自分たちの団体を取材してほしい
- ・こんな話題を取り上げてほしい
- ・ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている